(4) ごみ処理の工夫

①資源ごみは何に生まれ変わるのかな？

「資源ごみ」として回収されたごみは、それぞれのしせつで様々なものに生まれ変わります。

容器包装プラスチック

プラスチック選別センター

プラスチック選別センターは、東区に1か所あります。資源物として集められてきた容器包装プラスチックは、ここで容器包装プラスチック以外のものをとりのぞいてから、リサイクルをする会社にわたされて生まれ変わります。

びん・かん・ペットボトル

資源選別センター

資源選別センターは、東区と南区の2か所にあります。資源物として集められたびん・かん・ペットボトルはここで種類と色別に分けられてから、リサイクルをする会社にわたされて生まれ変わります。

雑がみ

雑がみ選別センター

雑がみ選別センターは、東区に1か所あります。資源物として集められた雑がみは、せい紙原料以外のものを取りのぞいてから、せい紙工場にわたされて生まれ変わります。

②資源にならないごみはどうなるのだろうか？

資源にならないものとして回収された「もやせるごみ」「もやせないごみ」「大型ごみ」も様々なものに生まれ変わります。

もやせるごみ

清そう工場

ごみをもやすだけではなく、もやしたときの熱をいろいろなことに利用して市民のくらしに役立てています。

ごみをもやしたときの熱

↓

高い熱の水じょう気

発　電

電気を作って清そう工場で使っています。
余った電気は地下鉄の電力になっています。

・発寒清そう工場
・駒岡清そう工場
・白石清そう工場

だんぼう・きゅう湯

南区真駒内地域のだんぼう・きゅう湯に利用したり、ほ養センターのおふろやだんぼうなどで熱を使っています。

・駒岡清そう工場

大型ごみ

リサイクルプラザ・リユースプラザ

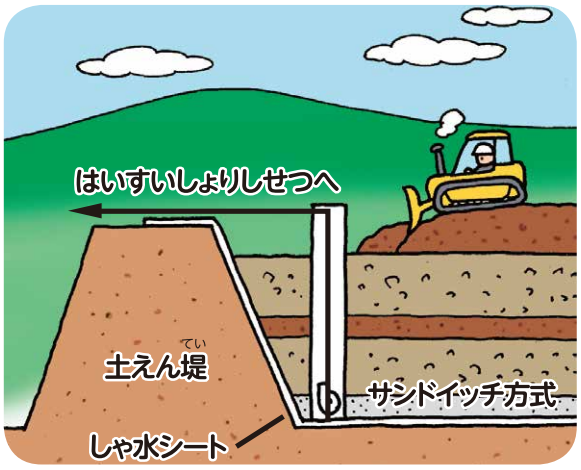
大型ごみの中で、まだ使える家具や自転車などを、再利用してもらうため、リユースの申込みによって別に集め、リサイクルプラザ発寒工房で清そう・整びし、リサイクルプラザ宮の沢や厚別区にあるリユースプラザでてんじ、ていきょうしています。

ごみの生まれ変わり

●もやせるごみ	清そう工場	エネルギー	
●紙に再生できない雑がみや会社・工場から出る紙くずなど	ごみ資源化工場	固形ねん料	
●びん・かん・ペットボトル	資源選別センター	リサイクル会社	再生品
●容器包装プラスチック	プラスチック選別センター	リサイクル会社	再生品
●まだ使える家具や自転車など	リサイクルプラザ発寒工房	清そう・整び	再生品
●雑がみ	雑がみ選別センター・古紙問屋	せい紙工場	再生品
●枝・葉・草	資源化ヤード	たい肥	

③もやせないごみや灰はどこに行くのだろう？

もやせないごみの一部や清そう工場から出る灰などは、市内2か所のうめたて地で処理します。



※ごみが散らかったりにおいが出たりするのを防ぐため、ごみと土をこうごにうめて、
サンドイッチのようにして処理しています。

うめたてが終わったあとは、公園やグラウンドなどに利用しています。

うめたて地のあと地利用　モエレ沼公園